



かがやく浜の子

令和2年度1月号

令和2年度重点目標 「チャレンジいっぱい かがやきいっぱい」

牛とカメの共通点

かたちなき 時間といえど 一年が ゆたけき (豊かな) ままに わが前にあり
佐藤 佐太郎 (歌人 1909～1987)

令和3年度がスタートしました。例年とは異なる様相の年末年始でしたが、今の厳しい状況が少しでも早く回復し、白小の子供たち、保護者の皆さん、地域の皆さんにとって、上の短歌のような素晴らしい年になることを願っています。

今年は丑(牛)年。「十二支のおはなし」という絵本では、神様が動物たちに「新年のあいさつに早くきた順番に、その年の大将にする」というおふれを出し、その結果、「子、丑、寅・・・亥」の十二支の順番が決められたとしています。「犬と猿は仲が悪いため間に鳥が割って入った」、「猫が入っていないのは、ネズミに間違っただけを教えられたから」などの由来も記されています。歩みの遅い牛は、元日の朝、まだ暗いうちから歩き出したため、2番でゴールできたということです。(最後は、自分の角の陰に隠れていたネズミに先を越されることになりますが・・・)



この牛の姿に、イソップ物語の『ウサギとカメ』の話を思い出しました。イソップ物語には、『北風と太陽』『金の斧銀の斧』『オオカミと羊飼』など有名なお話がたくさんあり、世界中で長年読み継がれてきた説話です。私も幼少のころ、母から読み聞かせをしてもらった記憶があります。『ウサギとカメ』のお話は、「油断は禁物」や「地道な努力」という教訓を与えてくれますが、もう一つ別の捉え方として、カメとウサギの視点が違っているということもあります。ウサギはゴールよりもカメの様子ばかりを気にしていますが、カメは、ウサギよりも常にゴールを見据えています。

2学期末に、子供たちと保護者の皆さんに学校生活についてのアンケートを取らせていただきました。詳細な集計結果と分析、今後の手立てについては、後日保護者の皆さんに文書にてお知らせいたしますが、一足先に3学期に始業式で、子供たちには次の4項目(主に授業と挨拶に関係するもの)についての話をしました。

No.	項 目	とてもあてはまる	あてはまる	あてはまらない	ほとんどあてはまらない
1	授業がわかりますか	126人	103人	25人	6人
2	授業に主体的に進んで取り組んでいますか	102人	112人	39人	7人
3	学校では進んであいさつをしていますか	102人	95人	50人	14人
4	家や地域では進んで挨拶をしていますか	108人	77人	52人	23人

「(とても) あてはまる」と回答した子供が多くありましたが、「(ほとんど) あてはまらない」と答えた子も少なからずありました。

「ゴールを見据えて一步一步進むこと」が、『十二支のおはなし』の牛と『ウサギとカメ』のカメの共通点にあるように感じます。3学期は、50日と最も短い学期です。「あてはまらない」と答えた子が「あてはまる」と答えられるように、一人一人に目心を配っていきます。そして、修了式、卒業式という一年間(6年生は六年間)のゴールを見据え、一日一日を大切に個々の努力を促すことによって、成長としての「かがやき」が、一層増すように支えていきます。(文責 校長)

